

月別時間割（第2クール）

1：総括管理部

2：健康管理部

3：作業管理部

4：作業環境管理部

2026.2.2 月	2026.2.3 火	2026.2.4 水	2026.2.5 木	2026.2.6 金
09:00 12:10 ●金子 誠 二 100-3602 1 ■企業における教育(2) 専門 3 2 同上 13:00 16:10 榎 原 毅 300-0501 3 □新しい自律的作業管理(1) 実地 3 4 同上 16:20 17:50 ●保 利 一 400-0402 5 □新しい化学物質管理者の役割と産業医との連携(2) 専門 1.5	09:00 10:30 ●筒 井 保 博 100-2602 1 ■産業保健総合支援センターとの連携(2) 専門 1.5 10:40 12:10 榎 原 毅 300-0602 2 □デジタルメンタルヘルスと作業管理(2) 専門 1.5 13:00 14:30 ●上 田 厚 100-3402 3 □農業における産業保健(2) 専門 1.5 14:40 17:50 ●眞 崎 義 憲 200-4902 4 ■企業内のパンデミック拡大防止の実例－問題解決における情報の重要性－(2) 専門 3 5 同上	09:00 12:10 ●市 川 佳 居 200-4602 1 ■メンタルヘルス：事業場外資源によるケア(2) 専門 3 2 同上 13:00 17:50 川 波 祥 子 100-4208 3 □職場巡視の実際(8) <(株)デンソー九州> 4 同上 5 同上	09:00 10:30 庄 司 卓 郎 300-0202 1 □ヒューマンエラー(2) 専門 1.5 10:40 12:10 ●筒 井 隆 夫 200-1202 2 □上肢障害の評価と対策(2) 専門 1.5 13:00 17:50 宮 内 博 幸 400-1902 3 □作業環境改善実習(2) <東邦テアニウム> 実地 4.5 4 同上 5 同上	09:00 10:30 ●山 本 健 也 400-0702 1 ■化学物質の自律的な管理－「健康障害発生リスク」を考慮したばく露管理の考え方(2) 専門 1.5 10:40 12:10 大 和 浩 200-2602 2 □職場における喫煙対策(2) 専門 1.5 13:00 14:30 ●岡 原 伸太郎 100-2902 3 ■外資系企業・国際展開する企業における産業保健活動(2) 専門 1.5 14:40 16:10 ●弘中知行・佐藤昌哉 300-0402 4 □安全管理の実際(2) 専門 1.5 16:20 17:50 ●加 藤 憲 忠 200-3001 5 ■睡眠と労働衛生(1) 専門 1.5

2026.2.9 月	2026.2.10 火	2026.2.11 水	2026.2.12 木	2026.2.13 金
09:00 12:10 石 丸 知 宏 100-1102 1 □産業医と倫理(2) 専門 3 2 同上 13:00 16:10 山 田 晋 平 300-1002 3 □国内外の最新動向を踏まえた作業姿勢評価(2) 実地 3 4 同上 16:20 17:50 ●樋 口 善 之 300-0802 5 ■高齢者の作業管理(2) 専門 1.5	09:00 12:10 真 船 浩 介 200-4102 1 □積極的傾聴法(2) 実地 3 2 同上 13:00 14:30 日 野 亜弥子 100-4002 3 □安全衛生委員会(大学 委員会参加)(2) 実地 1.5 14:40 16:10 ●内 野 文 吾 200-1902 4 ■外国人労働者の健康管理(2) 専門 1.5 16:20 17:50 堀 江 正 知 200-0402 5 □熱中症予防対策(2) 専門 1.5	建国記念の日 1 2 3 4 5	09:00 12:10 五十嵐 侑 100-4607 1 □ケースメソッドによる事例検討(6) 実地 3 2 同上 13:00 14:30 大 和 浩 200-0902 3 □電子タバコ・加熱式タバコの健康影響(2) 専門 1.5 14:40 16:10 松 嶋 康 之 200-3302 4 □脳血管疾患に対する両立支援(2) 専門 1.5 16:20 17:50 藤 原 広 明 300-1402 5 □勤務様態と生体リズム(2) 専門 1.5	09:00 10:30 東 秀 憲 300-1802 1 □個人用保護具の管理(2) 実地 1.5 10:40 12:10 ●諸 富 伸 夫 100-2402 2 ■労働衛生行政における厚生労働省の役割と部局間連携(2) 専門 1.5 13:00 16:10 ●小 橋 正 樹 100-4504 3 □産業医活動の実際(4) 専門 3 4 同上 16:20 17:50 上 野 晋 200-5202 5 □皮膚吸収性物質の発がん(2) 専門 1.5

2026.2.16 月	2026.2.17 火	2026.2.18 水	2026.2.19 木	2026.2.20 金
09:00 10:30 根 本 一 樹 200-3502 1 □産業医学と呼吸器疾患(2) 専門 1.5 10:40 12:10 上 田 大 佑 200-3802 2 □有害業務による歯科異常と生活習慣病としての歯科疾患(2) 専門 1.5 13:00 16:10 ●清 水 智 意 100-4503 3 □産業医活動の実際(3) 専門 3 4 同上 5	09:00 10:30 鈴木 克典 200-3902 1 □職場で問題になる感染性疾患の健診、感染対策(2) 専門 1.5 10:40 12:10 西 田 千 夏 100-4102 2 □学内産業医活動：職場巡視(2) 実地 1.5 13:00 14:30 大 河 原 真 200-1702 3 □在宅勤務者の健康管理(2) 専門 1.5 14:40 17:50 森 晃 爾 100-1602 4 □ケースメソッドによる統括産業医のマネジメント(2) 専門 3 5 同上	09:00 12:10 ●中 原 浩 彦 400-0502 1 □自律的な化学物質管理－リスクアセスメントにおけるCREATE-SIMPLEの活用(2) 専門 3 2 同上 13:00 16:10 ●三 柴 丈 典 100-1002 3 □産業医実務に役立つ「生きた法知識」～メンタル、健康情報、化学物質管理を中心に～(2) 専門 3 4 同上 16:20 17:50 ●小 山 倫 浩 400-1401 5 ■有害ガスと酸素欠乏(1) 専門 1.5	09:00 12:10 永 田 昌 子 200-3202 1 □治療と仕事の両立支援(2) 実地 3 2 同上 13:00 17:50 五十嵐 侑 300-2002 3 □職場改善の実例(2) <TOTO(株)> 4 同上 5 同上	09:00 12:10 川 波 祥 子 100-4605 1 □ケースメソッドによる事例検討(5) 実地 3 2 同上 13:00 14:30 岩 田 勲 100-5002 3 □産業医学と総合診療・家庭医療との連携(2) 専門 1.5 14:40 16:10 ●廣 尚 典 200-4302 4 □精神障害の労災問題(2) 専門 1.5 16:20 17:50 ●武 田 俊 200-1302 5 □職場における腰痛対策(2) 専門 1.5

2026.2.23 月	天皇誕生日	2026.2.24 火	2026.2.25 水	2026.2.26 木	2026.2.27 金
1 2 3 4 5		09:00 10:30 宮 内 博 幸 400-0302 1 □作業環境の評価と対策(化学物質等)(2) 専門 1.5 10:40 12:10 ●井 上 仁 郎 400-1601 2 □作業環境の評価と対策(騒音)(1) 専門 1.5 13:00 16:10 森本・和泉・友永 400-0202 3 □SDSの読み方・活用方法(2) 専門 3 4 同上 16:20 17:50 樋 上 光 雄 400-1802 5 □作業環境の評価と対策(室内環境)(2) 専門 1.5	09:00 12:10 中 谷 淳 子 200-2302 1 □健康診断における保健指導の実際(2) 実地 3 2 同上 13:00 16:10 森 晃 爾 100-1402 3 □労働安全衛生マネジメントシステム(2) 専門 3 4 同上 16:20 17:50 ●堀 木 繁 之 100-1502 5 □労働安全衛生マネジメントシステム監査(2) 専門 1.5	09:00 12:10 柴 田 喜 幸 100-3906 1 □労働衛生・健康教育実習(6) 実地 3 2 同上 13:00 14:30 齋 藤 光 正 200-1002 3 □生物因子のリスクアセスメント(2) 専門 1.5 14:40 16:10 ●坂 本 史 彦 200-2101 4 ■特殊健康診断の実例(1) 専門 1.5 16:20 17:50 永 田 竜 朗 200-1102 5 □情報機器作業の健康管理(2) 専門 1.5	09:00 10:30 庄 司 卓 郎 100-2302 1 □製品安全と品質管理(2) 専門 1.5 10:40 12:10 ●江 口 泰 正 200-2902 2 □ヘルシステラシーと健康教育(2) 専門 1.5 13:00 14:30 新 開 隆 弘 200-4502 3 □精神疾患と健康管理：職場不適合(パーソナリティ障害、発達障害、アルコール依存症)(2) 専門 1.5 14:40 17:50 ●玉井行人・下田功 100-1702 4 □企業経営と産業保健(2) 専門 3.0 5 同上

★現在修練中の実務講座未修了者専用です。

□ 対面講義：産業医実務研修センターや学内の指定された場所に集合して受講

■ 遠隔講義：任意の場所で受講可

休憩時間内で移動できない場合は、実務研修センター305研修室で遠隔講義を受講していただくことができます。

また、講師の都合により、対面・遠隔が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

(講師名の前の「●」は学外の講師)